

2022年度 日本肺癌学会肺癌研究助成申請書

____年____月____日

特定非営利活動法人日本肺癌学会

理事長 殿

申請者 住 所 〒 _____

フリカゝナ
氏 名 _____

生年月日 19____年____月____日生

会員番号 _____

次のとおり研究計画を申請します。

1. 研究課題名 : _____
2. 研究種別 : 基礎・トランスレーショナル研究、臨床研究・内科、臨床研究・外科 (対応するものに○)
3. 研究経費と申請額 : 研究経費金 _____ 円 申請額 _____ 円
4. 研究全体の予定期間 : _____ 年 _____ 月 から _____ 年 _____ 月
5. 申請者及び推薦者

申請者	①所属研究機関			
	②所属部局			
	③職 名			
	④所属研究機関 所在地 連絡先	〒 Tel: E-Mail:	Fax:	
	⑤最終卒業校		⑥学 位	
	⑦卒業年次		⑧専攻科目	
	推薦者	⑨所属部局		
⑩職 名				
(フリカゝナ) ⑪氏 名				
⑫連絡先		〒 Tel: E-Mail:	Fax:	

⑬研究承諾 の有無	有 ・ 無	⑭事務委任 の有無	有 ・ 無	⑮所属機関における COI（利益相反） 委員会の有無	有 ・ 無
⑯所属機関における COI委員会への申出の有無		有 ・ 無			

6. 研究組織

①研究者名	②分担する 研究項目	③最終卒業校・ 卒業年次・学位 及び専攻科目	④所属研究機関 及び現在の専門 (研究実施場所)	⑤所属研究機関にお ける職名

7. 研究の概要

研究の目的、必要性及び特色・独創的について500字以内で簡潔に記入すること。
研究の目的、方法及び期待される効果の流れ図を記入又は添付すること。

(流れ図)

8. 研究計画・方法

研究目的を達成するための具体的な研究計画及び方法を 1,000字以内 で記入すること。

10. 申請者の研究歴等

申請者の研究歴：
最近 5 年間の発表業績等： (この研究に直接関連した論文・著書については、著者氏名の名前に「○」を付すこと。)

申請時現在において、本研究は国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)や日本学術振興会などの公的助成は受けていません

最近5年間の科研費等研究費獲得状況：
(代表・分担の別、金額等についても記載してください)

11. 研究経費の内訳

(単位：円)

	申請した 研究経費	内 訳					
		物品費		人件費・謝金		旅費	その他
		設備備品費	消耗品費	人件費	謝金		
年度							

作成上の留意事項

1. 本研究計画書は、申請課題の採択の可否等を決定するための評価に使用されるものである。
2. 「申請者」について
住所は、申請者の現住所を記入すること。
3. 年度はすべて西暦で記入すること。
4. 「1. 研究課題名」について
研究の目的と成果が分かる課題名にすること。
5. 「3. 当該年度の計画経費」について
当該事業年度（1会計年度）の研究の実施に必要な計画経費を記入すること。
6. 「4. 当該年度の研究事業予定期間」について
当該事業年度中の研究事業予定期間を記入すること。
7. 「5. 申請者及び推薦者」について
 - (1)①及び②は、申請者が勤務する研究機関及び部局の正式名称を記入すること。
 - (2)⑧は、申請者が専攻した科目のうち当該研究事業に関係あるものについて記入すること。
 - (3)⑬は、申請者の所属研究機関の長に対する研究の承諾の有無を記載すること。
 - (4)⑭は、申請者の所属研究機関の長に対する事務の委任の有無を記載すること（原則として事務委任をすること。委任ができない場合は、受賞者の責任において適切な助成金の使用をすることと（税務上、収入とみなされる可能性があります）。）
 - (5)⑮は、申請者のCOI（利益相反）の管理するCOI委員会の所属研究機関での設置の有無を記載すること。
 - (6)⑯は、COI委員会へのCOI管理の申出の有無を記載すること。
8. 「6. 研究組織」について
申請者（研究代表者）及び研究分担者（研究代表者と研究項目を分担して研究を実施する者をいう。）について記入すること。
9. 「7. 研究の概要」について
 - (1)研究の目的、必要性及び特色・独創的な点について500字以内で簡潔に記入すること。
 - (2)複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と当該事業年度の計画との関係が分かるように記入すること。
 - (3)研究の目的、方法及び期待される効果の流れ図を記入又は添付すること。
10. 「8. 研究計画・方法」について
 - (1)研究目的を達成するための具体的な研究計画及び方法を1,000字以内で記入すること。
 - (2)研究計画を遂行するための研究体制について、研究代表者、研究分担者及び研究協力者の具体的な役割を明確にすること。
 - (3)複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と助成対象年次の計画との関係がわかるように記入すること。
 - (4)本研究を実施するために使用する研究施設・研究資料・研究フィールドの確保等、現在の研究環境の状況を踏まえて記入すること。
 - (5)臨床・疫学研究においては、基本デザイン、目標症例・試料数及び評価方法を明確に記入すること。
11. 「9. 倫理面への配慮」について
 - (1)「倫理面への配慮」には、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対象者に対する不利益、危険性の排除や説明と同意（インフォームド・コンセント）に関わる状況、実験動物に対する動物愛護上の配慮などを必ず記入すること。倫理面の問題がないと判断した場合には、その旨記入するとともに必ず理由を明記すること。なお、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成29年（一部改正）厚生労働省・文部科学省）、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針（平成16年文部科学省・厚生労働省・経済産業省）、疫学研究に関する倫理指針（平成19年文部科学省・厚生労働省）、遺伝子治療臨床研究に関する指針（平成16年文部科学省・厚生労働省）、臨床研究に関する倫理指針（平成20年厚生労働省）、ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針（平成18年厚生労働省）、及び申請者が所属する研究機関で定めた倫理規定等を遵守するとともに、あらかじめ当該研究機関の長等の承認、届出、確認等が必要な研究については、研究開始前に所定の手続を行うこと。
 - (2)事前に申請者の所属施設内の倫理委員会等において倫理面からの審査を受けた場合には、審査内容を必

ず添付すること。

- (3) 研究の内容に照らし、遵守しなければならない研究に関する指針等については、該当する指針等の「□」の枠内に「○」を記入すること（複数の指針等が該当する場合は、それぞれの枠内に「○」を記入すること。）。
- (4) 「疫学・生物統計学の専門家の関与の有無」欄及び「臨床研究登録予定の有無」欄は、「有」又は「無」のいずれか該当するものを「○」で囲むこと。ただし、当該研究の内容に関係がない場合は、「その他」を「○」で囲むこと。

12. 「10. 申請者の研究歴等」について

- (1) 申請者の研究歴について、過去に所属した研究機関名、主な共同研究者（又は指導を受けた研究者）、主な研究課題、これまでの研究実績（論文の本数、受賞数、特許権等知的財産権の取得数、研究課題の実施を通じた政策提言）等について記入すること。なお、論文については査読があるものに限る。
- (2) 発表業績等には、研究代表者及び研究分担者ごとに、それぞれ学術誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの（過去5年間）を選択し、直近年度から順に記入すること。
- (3) 「申請時現在において、本研究は国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)や日本学術振興会などの公的助成は受けていません」にチェックすること